

第5回ウランバートル国際シンポジウム

チンギス・ハーンとモンゴル帝国——歴史・文化・遺産

開催趣旨

13世紀はじめ、チンギス・ハーンはモンゴル諸部を統一し、ユーラシアをまたぐモンゴル帝国を築きました。この偉業はチンギス・ハーンの子・孫に引きつがれ、モンゴル帝国も世界史上で最大の、空前絶後の世界帝国となりました。

チンギス・ハーンとモンゴル帝国について、かつてはさまざまな偏見、誤解がくりかえされ、歪曲、誹謗されていました。幸いにも、近年、とりわけ1990年代以降、チンギス・ハーンとモンゴル帝国に対する認識は変わりつづけ、チンギス・ハーンとモンゴル帝国に関する研究、論著も大きな成果を得て画期的な展開をみせてきました。

チンギス・ハーンは新しい歴史をつくりだし、モンゴル帝国はあらたな世界秩序を構築しました。チンギス・ハーンとその騎馬運団の挑戦は世界を揺るがしたと同時に、アフロ・ユーラシアの交流の道を大きくひらきました。モンゴル帝国時代、政治、軍事、商業、経済、貿易、科学、文化、宗教などはめざましく発展し、繁栄しました。これがあってからこそ、のちのヨーロッパのルネサンス、海洋進出があったのです。これらの歴史事実は、現在、世界的に承認されています。

しかし、チンギス・ハーンとモンゴル帝国は未だ謎に満ちており、解明されていない課題がまだまだおおく残されています。チンギス・ハーン生誕850周年をむかえるこの機をとらえて、わたしたちは国際シンポジウム「チンギス・ハーンとモンゴル帝国——歴史・文化・遺産」を開催することにいたしました。

本シンポジウムは、近年の学界の最新の研究成果を総括し、歴史・文化・遺産の三つの視点からチンギス・ハーンとモンゴル帝国をアプローチし、広い視野から、特色ある議論を展開することを目的としています。

皆さまのご参加を、心からお待ちしております。

2012年1月吉日

実行委員会委員長

今西淳子（渥美国際交流財団関口グローバル研究会代表）

D. ショルファー（モンゴル科学アカデミー国際研究所副所長、博士）

S. チョローン（モンゴル科学アカデミー歴史研究所所長、教授、博士）

■第5回ウランバートル日モ国際シンポジウム チンギス・ハーンとモンゴル帝国——歴史・文化・遺産

主催： (公財) 渥美国際交流財団関口グローバル研究会 (SGRA)
モンゴル科学アカデミー国際研究所
モンゴル科学アカデミー歴史研究所

後援： モンゴル科学アカデミー
在モンゴル日本大使館
モンゴル・日本人材開発センター
モンゴルの歴史と文化研究会
イフ・ザサグ大学国際関係学院

■日程：2012年7月24(火)～26日(木)

- *参加登録：7月24日(火) 12:30～13:00時、モンゴル・日本人材開発センター
- *開会式・基調報告：7月24日(火) 13:00～15:40時、モンゴル・日本人材開発センター
- *会議：7月24日(火) 16:00～18:00時、
7月25日(水) 9:00～12:00時、14:00～18:10時
モンゴル・日本人材開発センター多目的室
- *7月26日(木)、草原への旅行

■会場：モンゴル・日本人材開発センター多目的室、セミナー室 (モンゴル国ウランバートル市) <http://www.japan-center.mn/indexjapan.htm>

■参加者(予定)：

発表者は日本、ドイツ、中国、ロシア、アメリカ、韓国などの国からの研究者約16名とモンゴル国からの研究者約12名。オブザーバー40名。

■プログラム：

- 7月24日(火) 12:30～13:00時、 受付、参加者登録
13:00～15:40時、開会式・基調報告
16:00～18:00時、報告
18:30～20:00 招待宴会
- 7月25日(水) 9:00～12:00 報告
12:30～13:30 昼食
14:00～16:50 報告
17:00～18:10 ディスカッション、閉会式
18:30～20:00 招待宴会
- 7月26日(木) 09:00～18:00 草原へ

■参加費：US\$300

登録費、宿泊費（7月24日から3泊）、食費、資料費などの諸費用を含む。参加登録時に現金（USドル）で納入。

■発表規程：

	使用言語	長さ	締切	提出方法
発表要旨	モンゴル語、英語、日本語。 英語以外の場合は英語要旨も添付する。	A4紙で1ページ程度（約40行）	6月16日（土）	Eメールに添付して送付 mongolsympo@aisf.or.jp または、 Fax 81-(0)3-3943-1512)
論文	モンゴル語、英語、日本語、 中国語。	A4紙で15ページ以内	7月9日（月）	Eメールに添付して送付 mongolsympo@aisf.or.jp または、 Fax 81-(0)3-3943-1512)
配布資料	モンゴル語、英語、日本語。	自由	7月24日（火）	30部印刷して持参し、受付時に受付係に渡す

*使用フォント：英語、モンゴル語は Times New Roman (12 P)。日本語は明朝 (10.5 P)。中国語は明朝あるいは SimSun (11P)。

*発表の際、プロジェクターをご使用する方は、7月23日（月）までにデータをメール添付で送付。

*発表とディスカッションは、モンゴル語と日本語の同時通訳付き、英語、中国語の発表はモンゴル語への同時通訳のみ付き。

*発表要旨、論文の提出は時間厳守をお願いします。

■参加申し込み：

*参加希望者は、添付の申込書に記入し、2012年4月30日（月）までに、下記実行委員会宛てEメールかファックスで申し込んでください。

*発表者が定員になった次第、募集は終了いたします。

■連絡先：

○シンポジウム実行委員会

Tel : 81-(0)3-3943-7612, Fax : 81-(0)3-3943-1512, E-mail: mongolsympo@aisf.or.jp

○モンゴル科学アカデミー国際研究所副所長：D. ショルフー

Tel : 976-11-318691, Fax : 976-11-322613, E-mail: Shurkhuu@iis.mas.ac.mn

○シンポジウム実行委員会事務局長：ボルジギン・フスレ

Tel : 81-(0)90-9335-5517, Fax: 81-(03)-6228-0928, Email : huselbq@yahoo.co.jp

参加申込書

返信先：mongolsympo@aisf.or.jp または Fax 81-(0)3-3943-1512

1. 氏名（日本語）：
2. 氏名（アルファベット）： Dr. Mr. Ms.
3. 所属（日本語）：
4. 所属（英語）：
5. 住所（アルファベット）：
6. 電話番号：
7. ファックス番号：
8. Email：
9. 発表しますか？
はい → 発表テーマ：
いいえ
10. 到着予定日時： 2012年7月23日（月） 時ころ
11. 出発予定日時： 2012年7月27日（金） 時ころ

*到着・出発予定日時は仮で結構です。航空券の予約がとれ次第、実行委員会にお知らせください。ただし、必ず2012年7月16日（月）までには知らせてください。